

令和3年度福祉ふれあいまつりポスター展示会を開催しました

令和3年11月、福祉ふれあいまつりポスター展示会が開催しました。

例年、福祉ふれあいまつりは、市民の皆さんに城陽市内で活躍する福祉関係団体を知る機会づくりとして、文化パーク城陽で開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年に続きポスター展示会として開催しました。

今年度は、昨年以上に多くの市民の皆さんに「福祉」にふれていただけるよう、イズミヤ大久保店（15日・16日）とアル・プラザ城陽（18日・19日）の2つの会場で開催しました。当日は障害福祉サービス事業所の手作り製品の販売会も同時に行われました。

ポスター展示会では、ポスター展示と合わせて団体のチラシなどを自由にお持ち帰りいただけるように、手作り製品の販売では、実際に製品の良さを見てもらえるようなディスプレイの工夫などもあり、開催期間中は約600名の方にご来場いただきました。

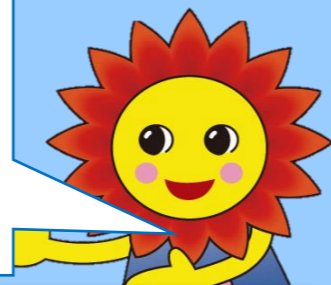
イズミヤ大久保店

アル・プラザ城陽



★城陽市社会福祉協議会ボランティア登録を募集しています★

城陽市社協では、年度を単位として、その期間に何らかの福祉ボランティア活動を城陽市内で予定、または活動をされている方への登録制度をボランティア登録と呼んでいます。登録された方にはボランティア募集の情報提供や、ボランティア保険の受付などを行っています。



城陽市社会福祉協議会【担当：栗森】（住所：京都府城陽市寺田東ノ口17）

電話：0774-56-0909 FAX：0774-56-2800

E-mail：kurimori@jyoshakyo.or.jp

福祉ボランティア活動を知ろう！

—「ボランティアフェスティバルポスター展示会」開催—

今年の「ボランティアフェスティバル in 城陽」はポスター展示会を開催します。ぜひこの機会に、城陽市内で活躍する福祉ボランティアにふれてみてはいかがでしょうか？

日時：令和4年2月7日（月）～2月20日（日）

場所：城陽市立福祉センター玄関

令和4年2月号発行 ボランティアだより

—発行— 社会福祉法人
城陽市社会福祉協議会

京都府城陽市寺田東ノ口17

TEL (0774) 56-0909

FAX (0774) 56-2800

みんなで学ぼう！ボランティア講座

「笑顔をふやす取り組み“フードバンク”を知ろう」

「フードバンク」とは、企業やご家庭においてまだ賞味期限はあるけれど、様々な理由により消費しきれない食べ物を寄付していただき、その食品を子ども食堂や必要としている人へ無償で提供する活動です。

京都府では、2018年3月に「きょうとフードセンター」が設立され「京都式フードバンク事業」として、城陽市でも展開されています。

食品寄付を通じて笑顔を増やす活動「フードバンク」について、一緒に学んでみませんか？

【日にち】 令和4年3月18日（金）

【時間】 13:30～15:30

【場所】 城陽市立福祉センター 1階ホール

【講師】 森 達夫氏 きょうとフードセンター

宮西 裕子氏 社会福祉法人 青谷学園

【対象】 城陽市内在住の方でフードバンク等に興味のある方
ボランティア活動に関心のある方または活動中の市民

【定員】 30名（定員になり次第締め切り）

※事前申し込みが必要です。

【参加費】 無料

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、やむを得ず中止となる場合があります。

お気軽に
ご参加ください



👶 城陽サマースクールクリスマスボッチャが開催されました

今回は東京2020パラリンピックでメダルを獲得するなど、日本選手の活躍も話題となった“ボッチャ”を子どもたちと一緒に楽しみました。当日は城陽市ボッチャ協会の協力のもと、子どもだけでなく大人も全力でボッチャを楽しむことができました。

ボッチャは、赤と青のチーム（ボール）に分かれて、白いボールの近い位置にボールがあるチームが勝ちです。カーリングにも似ていますが、カーリングとの違いでありボッチャが白熱するポイントでもあるのが、「白いボール（的）が赤か青のボールに弾かれることで的が動き、勝敗は最後までわからない」ことです。コートに一步入れば、子どもたちは真剣な表情で、一球に勝利へのおもいを込めて投球する姿はアスリートのような様子でした。

ボッチャの歴史

ボッチャはヨーロッパ発祥のスポーツです。老若男女問わず楽しめるスポーツとして親しまれ、1988年からはソウルパラリンピック正式競技として、より世界に広がっていききました。



ボッチャ終了後は、城陽市ボッチャ協会の方と子どもたちのサポートをしてくれた龍谷大学の学生ボランティアの皆さんへ、子どもたちから感謝の色紙を渡し、地域福祉活動の大切な「感謝する気持ちを伝える」も忘れず実践することで、地域とのつながりを深めることができました。

みんなでクリスマスデコレーションも頑張りました！



🔥 次回予告 🔥

次回城陽サマースクールは、屋外でのアウトドア体験を予定しています。これからも子どもたちの体験できる機会づくりを大切に、準備していきます。

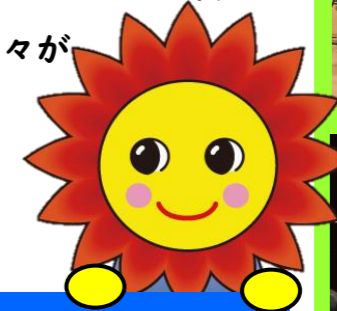
頑張った子どもたちにはメダルとトロフィーが授与されました！ やったね！

★★★★ ボランティア講座 ★★★★★ 「みんなが“これから世代” つなげたいボランティアの芽」を開催しました



令和3年12月7日（火）に、華頂短期大学幼児教育学科准教授名賀亨（ながとおる）先生をお招きして、ボランティアの基礎を学ぶ講座を開催しました。当日は、名賀先生の経験談を交えながら、ボランティア活動で大切なポイント「歩みよること」や、「自らが動き出すこと」などを深く学ぶことができました。

質疑応答の中で、参加者より「コロナ禍により、地域のボランティア活動が思うように進めることができない時、どうすれば良いですか？」など、多くの方々が共通して抱えている悩みについて、先生と一緒に会場の皆さんと考える機会をつくることができました。



ボランティア講座は、「ボランティアに興味はあるけど、何から始めれば…」と感じている方から、「まずは知りたい」という方まで、幅広い方のご参加をお待ちしております。ご興味がある方は、城陽市社会福祉協議会まで（0774-56-0909）お問い合わせください。お待ちしております。



防災とボランティア週間

● パネル展を開催しました ●

城陽市社会福祉協議会では、平時からの災害への備えや、復興におけるボランティア活動の重要性を皆さんに知ってもらう機会として、1月15日から1月21日の「防災とボランティア週間」に、城陽市立福祉センター1階ロビーでパネル展を開催しました。

「防災とボランティア週間」のきっかけとなった阪神・淡路大震災から27年が経ちました。当時の復興に向けて、ボランティアは大きな力となりました。改めて、地域の災害やボランティアについて考えてみませんか？

